

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日~5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
8	B-07001663	男性	10歳代	120 mg	カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル5日分投与開始。服用1日目、異常な行動はなかったものの、「お父さんがお母さんを殺そうとしている」など、非現実的な事を話していた。せん妄発現。 翌日、せん妄回復。 服用5日目に服用終了。
9	B-07001665	女性	10歳未満	87 mg		異常行動 幻覚	回復 回復	インフルエンザ疑いのため、リン酸オセルタミビル処方。異常言動、幻覚発現。本剤服用終了。 6日後、異常言動、幻覚回復。
10	B-07001669	女性	10歳未満	60 mg		痙攣	回復	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル5日分処方。同日朝、38.5℃。本剤1回目服用。同日昼、39.4℃。同日夜、2回目服用30分後、全身痙攣5分間。意識有り、やや軽い痙攣。服用1時間半後、39.5℃ 全身痙攣5分間、意識有り、やや軽い痙攣。アセトアミノフェン坐剤を使用。服用2時間半後、39.2℃ 痙攣5分間。服用3時間半後、38.4℃。痙攣5分間、意識有り。痙攣強。幻覚あり(ママの目が真っ赤でこわいと言う)。服用6時間半後、36.2℃。痙攣2分間、幻覚あり。本剤投与中止。 中止1日後、症状回復。
11	B-07001708	男性	不明	不明		パーキンソン病	未回復	大腸ポリープの手術を行った後、インフルエンザに罹り、リン酸オセルタミビル処方。服用翌日、パーキンソン病発現。現在も治療中。
12	B-07001731	女性	60歳代	75 mg	臭化水素酸デキストロメ ルファン ロラゼパム クロキサゾラム	意識消失	回復	インフルンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。食事中、腹痛、気分不快になり意識消失(5分間程)。尿失禁あり。その後回復。
13	B-07001737	男性	10歳代	150 mg	セフテラムピボキシル 臭化水素酸デキストロメ ルファン アセトアミノフェン	異常行動 異常行動	回復 回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用後、夜間に自分の頭をたたく等の異常行動が発現。服用2日目、再び本剤服用。夜間に同様の異常行動発現。服用3日目、異常行動回復。
14	B-07001738	男性	10歳未満	144 mg	セフジレンピボキシル カルボシステイン d-マレイン酸クロルフェニ ラミン トラネキサム酸	異常行動	回復	39.0℃の高熱があり、検査結果では+/-であったが、インフルエンザ疑いのため、リン酸オセルタミビル処方。1回目服用後、すぐに高揚し、不可解な行動をするなどの異常行動を発現。 翌日、回復。

## 異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日~5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
15	B-07001739	男性	70歳代	150 mg	クロロプロマジン・プロメタジン配合剤(2) 酒石酸ソルピデム ピコスルファートナトリウム 塩酸アミトリプチリン アルプラゾラム メフェナム酸 臭化プロパンテリン・クロロフィル配合剤(2)	意識レベルの低下	不明	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用3日目、意識障害発現。
16	B-07001747	女性	10歳未満	36 mg		痙攣	回復	40℃近い発熱あり。インフルエンザB型陽性であったため、リン酸オセルタミビル処方。同日夕方、本剤1回服用。体温:39.6℃。意味不明なことを言い出すなどの意識障害、幻覚発現。服用2時間後、痙攣発現。救急車にて搬送。到着時は意識ははっきりしていた。体温:39.4℃、解熱剤投与し、帰宅。帰宅後も頭痛、腹痛、嘔吐あり。翌朝、痙攣、意識障害、幻覚回復。1回服用から翌朝までの記憶はなかった。
17	B-07001805	男性	10歳未満	35mg	アセトアミノフェン ジアゼパム リン酸ジメモルファン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	痙攣	未回復	午後より発熱、けいれんを2回程発症。その後、インフルエンザA型治療のためリン酸オセルタミビル処方。1回服用後もけいれんを認める。38.8℃。服用2日目、入院。服用3日目、夜、発熱は続き、数秒~10数秒のけいれんが頻発。
18	B-07001807	女性	10歳未満	60 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン 非ピリン系感冒剤(2)	痙攣	回復	体温:38.5℃。インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用開始3日目、インフルエンザの軽快・回復。深夜、すでに解熱。服用開始4日目、計6回服用後、30分くらいの発作あり。ひきつけなのか悪夢をみたのか不明。その後、就寝中にうなり声を聞いた。その翌朝、ふだんと変わらず。
19	B-07001808	男性	10歳未満	136.2mg	ドンペリドン	異常行動	回復	37℃の発熱、咳、咽頭痛が朝よりあったため、感冒剤服用。同日夜、38.3℃に上昇。嘔吐もあったので、救急受診し、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用時、38.3℃。服用1~2時間後、寝たままで最初手足をピクピクさせ、ワーと大声で泣き叫び、全身の筋肉を硬直させ、眼は大きく見開いて一点を凝視した。2~3分持続。反応中は意識不明。5分後、意識回復。その後も、ぐずったり、泣いたりして熟睡してはなかった。38℃台の高熱あり。服用開始2日目の朝、夕方、服用3日目の朝いずれも、38℃台~41℃の発熱あり。いずれも本剤服用1~2時間後に、毎回、同様の異常行動が発現。本剤中止。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
20	B-07001809	男性	30歳代	不明	アトルバスタチンカルシウム水和物	意識消失	未記載	リン酸オセルタミビル服用。車の運転中に一瞬自分が何をしているのか分からないような状態に陥った。意識消失が発現。
21	B-07001811	男性	10歳未満	不明		意識レベルの低下	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。2回目服用1時間後、意味不明な発言、突然笑い出すなどの症状などの意識障害発現。同日、服用終了。服用終了後3日目、意識障害回復。
22	B-07001812	女性	10歳未満	99 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキシール 塩酸シプロヘプタジン 塩酸ツロブテロール	異常行動	回復	インフルエンザB型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。服用開始2日目、解熱。就寝後に手をばたばたさせ、イヤダイヤダとさわぐ。服用3日目、夜、前夜と同様のエピソードが2時間置きの頻度で発現。服用4日目、服用中止。
23	B-07001892	女性	40歳代	150mg	アセトアミノフェン	味覚異常	不明	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用開始3日目、夕方、味覚障害発現。服用開始4日目、嗅覚障害発現。水様下痢もあり。
24	B-07001894	女性	10歳未満	105 mg	ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	痙攣	軽快	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用3時間半後、けいれん(軽微)発現。インフルエンザによる発熱あり。けいれん軽快。
25	B-07001906	不明	80歳代	150 mg		認知症	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。うなったり暴れたりということが見られ、その後、訳のわからないことをいうなど痴呆症のような状態となる。精神神経異常発現。本剤投与中止。インフルエンザ発症前(本剤服用前)は、痴呆症なし。投与中止翌日、精神神経異常回復。
26	B-07002053	女性	10歳未満	不明	アセトアミノフェン	痙攣 異常行動	回復 回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。痙攣、声を発するなどの異常行動が発現。
27	B-07002054	男性	10歳未満	40 mg		異常行動	回復	診察時から興奮気味。インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。同日夕方、服用後、おかしな発言を繰り返す(こわいこわいと言っている)。睡眠中、夜には一度熱が下がり、症状は落ち着く。服用開始2日目、朝、再び発熱。本剤服用しないが、気分高揚し、妹と遊んでいる最中にはさみで妹の指を傷つけた。服用開始3日目、異常行動回復、インフルエンザ軽快・回復。

## 異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日~5月31日に第一報報告のあったもの)

No	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
28	B-07002073	女性	10歳代	150 mg	クラリスロマイシン 臭化水素酸デキストロメ ルファン カルボシステイン 開始液(1)	大発作痙攣	不明	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用開始4日後、朝、本剤減量。外来受診時(38-39°C出現、咳も強い)胸部x-p撮影中にGTC(全身性強直間代けいれん発作)5秒。その後、1分後に意識もどした。胸部x-p上気管支影の増強はみられたが、明らかな肺炎臓はなかった。
29	B-07002190	女性	10歳未 満	180mg		嘔吐 傾眠	軽快 軽快	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル5日分処方するも、同日夕、5日分を1回ですべて服用。服用1時間後、嘔吐発現(数回)。嘔吐発現から1時間後、傾眠発現。救急外来受診。胃洗浄、輸液。入院。その4日後、嘔吐、傾眠軽快。
30	B-07002262	女性	60歳代	150 mg	アセトアミノフェン クラリスロマイシン 臭化水素酸デキストロメ ルファン セラペプターゼ 塩酸アンプロキシール カルボシステイン 酒石酸ゾルピデム	うつ病	軽快	インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。本剤を服用するとうつ状態となり、死にたいという気持ちが強くなり、手首を切ろうかと思いつめた。3回目までの服用したが、あまりに症状がきついで、本剤服用中止。中止後、症状軽快するも、中止1ヵ月後、うつの症状が抜けきらず、夜も眠れないとのこと。
31	B-07002263	男性	10歳代	150 mg	アセトアミノフェン	統合失調症 様障害	不明	インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビル処方。服用6日目、朝の服用にて、服用終了。そのころから、言動に総合性が無くなった。意識は清明、見当識ありだが、会話に混乱あり。服用終了2日後、急性混乱状態発現。神経学的には明らかな脱落症状なし、MRI、ルンバールを施行。脳炎、髄膜炎を示唆する所見なし。統合失調症を疑う。
32	B-07002264	男性	10歳未 満	150 mg		異常行動	回復	インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル処方。同日夕方より服用開始。服用2日目、発熱持続。朝、夕服用。その夜、就寝していたところ急に足をバタバタさせ、その後「おしっこに行きたい」と話しトイレへ。排尿をすませた後走って戻り、何か早口で喋り(家人に内容は分からなかったとのこと)再度就寝。異常行動ではないかと救急受診。受診時意識清明、見当識良好、神経学的異常所見なかったが、家人の心配が強いため、入院の上、経過観察とした。本剤服用中止。入院後は何事もなく解熱。
33	B-07002309	男性	10歳未 満	不明		異常行動 霧視	軽快 軽快	A型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル服用。2日で解熱。約1ヵ月後、再度、A型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。ふすまをかじる、目の焦点が合っていないなどの症状が発現。入院となる。症状軽快。翌日、解熱、輸液投与。インフルエンザ症状軽快。通常どおり受け答え。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
34	B-07002383	男性	20歳代	150 mg		痙攣	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。痙攣発現。
35	B-07002390	男性	10歳代	150 mg	鎮咳配合剤(1)	異常行動 浮動性めまい 転倒 損傷	回復 回復 回復 回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用1日目、転倒、頭部外傷、ふらつき発現。体温:38.4℃。 服用2日目、異常行動発現。頭部外傷、4針結合。 服用5日目、朝服用。その後は、本剤服用せず。
36	B-07002665	男性	不明	78 mg	ヒベンズ酸チペピジン フマル酸クレマスチン カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル処方。同日夜半、意識が朦朧となる。呼びかけてもはっきりせず家族が「異常行動か?」と考え、本剤服薬中止させたところ、意識回復。
37	B-07002666	男性	10歳代	150 mg	ロキソプロフェンナトリウム 鎮咳配合剤(1) アセトアミノフェン	攻撃性	回復	インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル服用開始。 服用開始3日目、掃除機を振り廻し、食器類を破損するといった異常行動 暴力行為が発現。直ちに本剤を中止。 中止翌日、解熱し、落ち着かない状態。インフルエンザは軽快。
38	B-07002855	女性	10歳未満	不明		痙攣	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。 夜、本剤内服後、痙攣にて夜間診療所に搬送。
39	B-07002947	男性	10歳未満	36 mg	カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン	痙攣	回復	インフルエンザA陽性と診断され、夕方より、リン酸オセルタミビル服用開始。服用1時間30分後、けいれん発作発現(1分程で停止)。服用2時間後、受診。けいれん発作おちついており処置なし。念のため本剤服用中止。 投与中止3日後、病状軽快。
40	B-07002949	女性	70歳代	150 mg	セフミノクスナトリウム ニフェジピン マレイン酸エナラプリル トリクロルメチアジド スピロラクトン アスピリン・ダイアルミネート シンバスタチン ジクロフェナクナトリウム	幻覚 譫妄	回復 回復	高熱、咽頭痛、歩行困難あり、入院。インフルエンザ疑いのため、リン酸オセルタミビル投与開始。 翌日、朝より解熱。 投与開始5日目、深夜幻覚、譫妄発現。私服に着替え、夫の病室を訪問。「退院しよう」と誘うも、説得され帰宅。本剤投与終了。 翌日深夜も独りで夫の部屋を訪れ、「退院しよう」といい、説得されて、他の病室へ入室。その後、病室を出て、約1km離れた自宅に帰り、娘宅に電話する。夫がいないことを不審に思った由。 その3日後、幻覚、譫妄回復。

## 異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日～5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
41	B-07002996	男性	10歳未満	120mg	アセトアミノフェン アセトアミノフェン	異常行動	軽快	インフルエンザB型と診断されリン酸オセルタミビル処方。夜、本剤服用。 投与開始2日目、朝、2回目服用し、再び受診。本剤は継続。夜、3回目服用。その後熱が40°Cまで上昇したので、アセトアミノフェン服用。その後、意味不明な言葉を発し、夜中、目の前がまぶしいと訴えまつげを抜き始めた。 投与開始3日目、家族より連絡をうけ、本剤中止し、受診。熱は39.2度。まぶしい、暑い、えらいを繰り返した。その後、異常言動のため入院。輸液のみの処置で経過観察。血液、脳波にインフルエンザ脳炎脳症を疑う異常所見はなし。 投与中止1日後、異常言動なし。本人は前日、前々日の異常言動を覚えていないとのこと。
42	B-07003012	男性	10歳未満	114 mg		痙攣	回復	B型インフルエンザの診断のもと、リン酸オセルタミビル処方。夜、本剤服用。深夜、本剤服用2時間後より、興奮状態、けいれん発現。目は半開き、ボーッとした状態(意識はある様子)。 翌朝、39.3°Cで、痰がらみの咳、鼻汁、かすれ声、咽頭発赤(軽度)あり。
43	B-07003013	女性	10歳未満	不明	セフトキシムプロキセチル アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。うわごとを言う、添い寝していた家族をける等の行動が発現。 投与開始2日目、本剤服用中止。
44	B-07003014	女性	30歳代	150 mg	コハク酸メチルプレドニゾロンナトリウム プロポフォール パニペナム・ベタミブロン 乾燥スルホ化人免疫グロブリン 塩酸ドパミン フェニトインナトリウム 濃グリセリン・果糖 塩酸ラニチジン ヘパリンナトリウム オメプラゾール	異常行動 意識変容状態	回復 回復	40°Cの発熱で受診し、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。 投与開始2日目、夜、熱は下がってきたものの、意味不明な発言、奇声を上げる。すぐ受診するが、尿失禁などあり。1時間後、精査困難のため、救命救急に搬送。この時、MRIによる異常所見はなし。インフルエンザ脳症を疑い、入院し、ステロイドパルス療法施行。 投与開始3日目、異常行動、意識障害は回復傾向あり。 投与開始4日目、異常行動、意識障害回復。 投与開始5日目、本剤投与終了。
45	B-07003016	女性	20歳代	150 mg		意識消失	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。意識がなくなり倒れていた。 投与開始2日目、症状回復。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日~5月31日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
46	B-07003017	女性	80歳代	150 mg	アセトアミノフェン	妄想 幻聴	回復 回復	インフルエンザAに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。 投与開始2日目、妄想、幻聴発現。本剤投与中止。 投与中止2日後、妄想、幻聴回復。
47	B-07003019	女性	不明	36 mg	ヒペンズ酸チペピジン フマル酸クレマスチン カルボシステイン アセトアミノフェン	痙攣	回復	インフルエンザにて、リン酸オセルタミビル服用開始。朝、夜本剤服用。体温:39℃。 投与開始2日目、朝、夜、本剤服用。寝ている時、痙攣の様にピクピクする。 投与開始3日目、熱が下がったので本剤を自己中止する。その後、痙攣は出していない。
48	B-07003094	男性	10歳未 満	33 mg	フマル酸クレマスチン	痙攣	回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。昼に本剤服用し、2時間半眠った。覚醒 後に手と首にふるえがみられ、はっきりと聞き取れなかったが歌を歌うような何を言っているかわか らない発語がみられた。痙攣、手と首のふるえ、意味不明な発語発現。2-3分ではっきりとして回 復。この時の体温は不明。本剤服用中止。 投与中止7日後、インフルエンザ回復。
49	B-07003187	女性	10歳未 満	不明		痙攣 譫妄 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザの検査を行うが陰性のため、解熱剤、抗菌剤等処方。夕方、熱が下がらないとのこ とで再度受診。体温40℃。検査はしなかったがインフルエンザと判断し、リン酸オセルタミビル処方。 夜、本剤服用。服用1時間以内にけいれん、うわ言、白目をむいた状態となる。けいれんに関しては それほど長くあったわけではないようだが、うわ言に関しては、若干長く言っていた様子。 翌日、症状回復。 なお、以前一度、本剤を服用したことがあったが、そのときは何もなかったとのこと。熱性けいれん は過去になし。
50	B-07003243	男性	10歳未 満	114 mg		痙攣	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤服用後10分以内に、全身性 痙攣発現し、同日回復。
51	B-07003478	女性	10歳未 満	78 mg		痙攣	回復	A型インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。 投与開始3日目、ひきつけ、ケイレン発現(非重篤)。本剤投与中止。同日回復。
52	B-07003580	男性	10歳代	150 mg		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。夜間、異常行動(あばれる)発現。押さえ つけていないといけない状態であった。 投与開始2日目、何でも出来てしまいそうな気持ちだったらしい。異常行動回復。 投与開始6日目にて本剤投与終了。